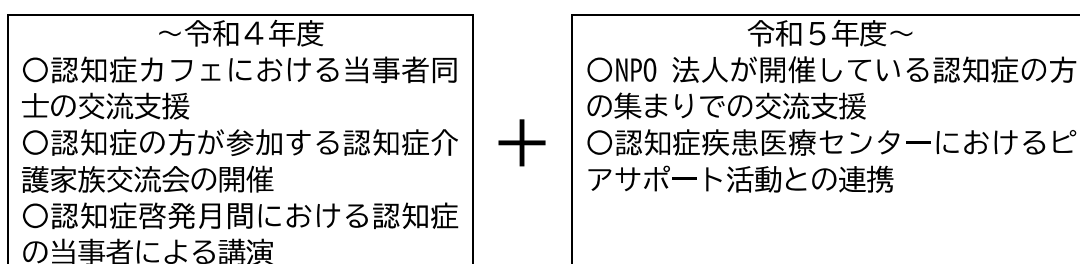


令和5年度新たな取組みについて

1 ピアサポート活動の支援

認知症の方ご自身が、その経験を基に、認知症と診断されて不安を感じている方等を勇気づけ、将来の生活に希望を持てるよう支援する。認知症の方が、ピアサポーターとして活動し、地域を支える一員として活躍することで、認知症の方の社会参加につながる。



2 認知症にやさしいデザインの普及

イギリススターリング大学認知症サービス開発センターが提唱する「認知症にやさしいデザイン」を普及し、ハード面からの「認知症にやさしいまちづくり」を進める。

認知症の人にも理解しやすい、安心できるデザインによる環境を整えることにより、認知症の人の混乱や不安を軽減し、尊厳を保ち、その人らしくできるだけ長い間自立して生活できることを支援する。

具体的には、認知症にやさしいデザインの考え方を広めるため、10月上旬にイギリススターリング大学認知症サービス開発センター主席建築士のレスリー・パーマー氏を招き、市民向けに啓発セミナーを開催する。

【認知症にやさしいデザインの主なポイント】

- ・色（明度）の組み合わせ
- ・サインと目印の活用
- ・明るさの調整
- ・親しみや安心感への配慮
- ・安全な屋外空間